



2023年5月10日

各 位

会社名 O A T アグリオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡 尚
(コード:4979、東証プライム市場)
問合せ先 取締役 総務部部長 高瀬 尋樹
(TEL. 03-5283-0262)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表いたしました2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の通期連結業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,700	百万円 3,200	百万円 3,120	百万円 2,100	円 銭 198.60
今回修正予想(B)	28,500	4,000	4,050	2,650	250.62
増減額(B-A)	800	800	930	550	—
増減率(%)	2.9%	25.0%	29.8%	26.2%	—
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	26,960	3,346	3,385	2,261	214.12

修正の理由

2023年12月期第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、農薬分野において当社主力製品である殺虫剤「オンコル」や「オリオン」が好調に推移しました。また、当社が注力しているグリーンプロダクツの殺ダニ剤「サフオイル」、殺菌剤「カリグリーン」も堅調な売上を維持しております。海外市場におきましては引き続き殺ダニ剤「ダニサラバ」が好調を維持し、グリーンプロダクツの「サフオイル」は前年同期比で大きく売上を伸長させました。肥料・バイオスティミュラント分野において、国内市場ではハウス肥料や養液土耕肥料、亜リン酸肥料などが堅調に推移しました。

さらに海外関連会社におきましても、Post-Harvest 関連製品に強みを持つオランダの Blue Wave Holding B.V. が堅調に推移し、バイオスティミュラントの開発、製造及び販売を手掛けるスペインの LIDA Plant Research, S.L. も好調な中南米向け売上が業績をけん引しました。また、為替が円安傾向にて推移



したことによる業績へのプラス影響もあり営業利益は前年同期比大幅に伸長いたしました。

※2023年12月期第1四半期連結累計期間営業利益（前年同期比741百万円増加）

- ・売上増加による影響額：+373百万円
- ・為替変動による影響額：+451百万円
- ・販管費増加による影響額：△82百万円

※為替レート

- ・2022年12月期第1四半期累計期間（116.34円／USドル、130.40円／ユーロ）
- ・2023年12月期第1四半期累計期間（132.42円／USドル、142.16円／ユーロ）

2023年12月期通期業績につきましても販売が順調に推移することが想定されることから、前回予想を上回る見込みであります。

2. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2023年2月10日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 45.00
今回修正予想	—	—	—	50.00	50.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2022年12月期)	—	0.00	—	45.00	45.00

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえ、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勧奨し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。今回、2023年12月期通期連結業績予想の見直しに伴い、2023年12月期末の配当予想を5円00銭増額し、1株当たり50円00銭に修正いたします。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績値は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上